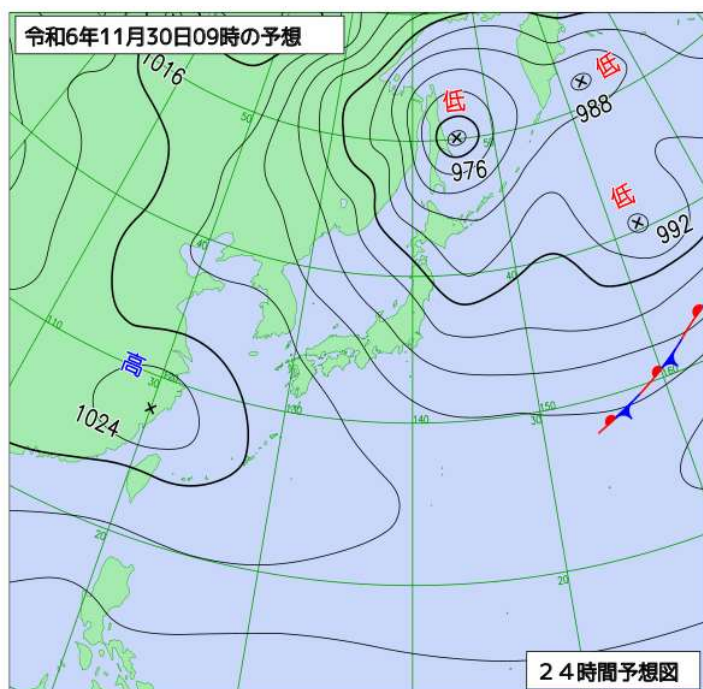


# 渡良瀬NRSタスク Day 1

## Weather Briefing

### 気象概要



サハリン付近に低気圧があり、日本の東に向けて気圧の谷が位置する。

渡良瀬エリアは、この気圧の谷に向け風が流入することが予想されるため、地上風は南西よりの風。上空は西寄りの風が予想される。

接地逆転層は、800feet/MSLに予想され、この層の上は安定度が悪いため風向風速の変動が見込まれる。ブレイクは午前9時にかけてを予想。

	5	6	7	8	9	10
4,500 ft	→	→	↘	↘	↘	↘
850 hPa	W	W	WNW	WNW	WNW	WNW
Speed (kt)	32	32	31	30	29	28
3,000 ft	↘	→	→	→	↗	↗
900 hPa	WNW	W	W	W	WSW	WSW
Speed (kt)	25	25	25	24	23	24
2,200 ft	→	↗	↗	↗	↗	↗
925 hPa	W	WSW	WSW	WSW	WSW	WSW
Speed (kt)	22	24	23	23	23	22
1,500 ft	→	↗	↗	↗	↗	↗
950 hPa	WSW	WSW	WSW	WSW	WSW	W
Speed (kt)	19	21	21	20	20	18
800 ft	→	↗	↗	↗	↗	↗
975 hPa	WSW	WSW	WSW	WSW	WSW	W
Speed (kt)	15	16	16	18	18	16
地上	↗	↗	↗	↗	→	→
SFC	SW	SW	SW	WSW	W	W
Speed (kt)	2	2	3	3	6	10
Gust (kt)				5	8	
気温 (°C)	4	4	4	6	8	11

#### 850hPa

越後山脈や関東山地の間を吹き抜けた風が渡良瀬上空に西寄りの風として吹き、日本の東の気圧の谷へ向けて西北西から西南西の幅で風向が変化していくことが予想される。

#### 900hPa~950hPa

上層850hPaの風向特性と同一であり、平均風速20kt、時速40km前後の風が予想される。

地形の影響を受け、熊谷→古河→水戸にかけて、西北西→西→西南西へ吹き抜け。900hPaでは実際が8KT程度の風が観測されている。熊谷

#### 975hPa

接地逆転層が800feet MSLで形成されることが予想される。ブレイクは午前9時予想